

**無料です
ご自由にお取り下さい**

**I O R I 工房カタログ
(鉄道編 Ver3.1)**

レーザーカット済ペーパーキット 木造客車シリーズ

建築模型にも使われているスノーマット紙をレーザーカットマシンで裁断しキット化したシリーズです。今回はあまり鉄道模型として見かけない木造客車をキット化してみました。

ロ75

1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カブラーポケット

- ・φ5.6車輪
- ・各種カブラー

明治23年にイギリス、メトロポリタン車輛会社にて8両が製造された2等車です。中央に使所、左右に客室を配する車内レイアウトが特徴で、形式違いの同型車が多数存在しました。



ロハ851

1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カブラーポケット

- ・φ5.6車輪
- ・各種カブラー

明治27年に新橋工場で5両が製作された、二三等合造車です。車輛の前後で等級を分ける通常の合造車と異なり、車体中央に2等室があり、両端に3等室がある構造が特徴です。



ハ1005

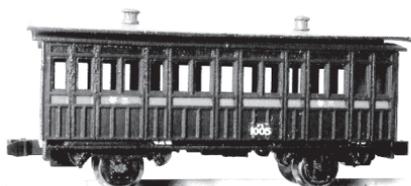
1/150 N
生産終了

●別売品

KATO2軸貨車用
カブラーポケット

- ・φ5.6車輪
- ・各種カブラー

明治22年～明治39年に製造された同系車をまとめたグループで、その総数は全体で500両近くに及び、四輪単車群の中でも一大勢力を誇りました。製造時期、工場の違いで外観に少しずつ違いがあります。今回はそんな一族から、明治22年にイギリスの工場で製造されたハ1774をプロトタイプにしました。



ハ4975

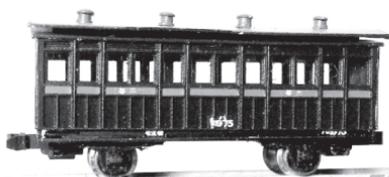
1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カブラーポケット

- ・φ5.6車輪
- ・各種カブラー

この車は明治16～20年に神戸工場で製造したロ507を格下げ改造して生まれた車両です。ゆったりと配置された窓配置に2等車時代が偲ばれます。



コハ6500

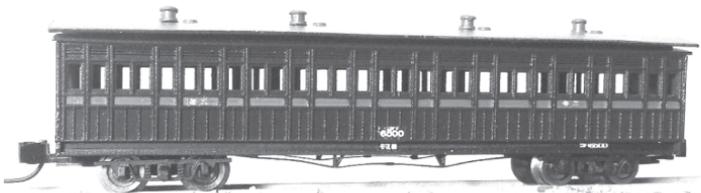
1/150 N
1800円

●別売品

マグネマティック
カプラーNo2001
・φ5.6車輪

明治8年～明治9年にイギリスで9輛、国内で1輛が作られた日本初のボギー客車です。

国鉄では仙台局管内で昭和24年まで使用されていました。



フハ3109

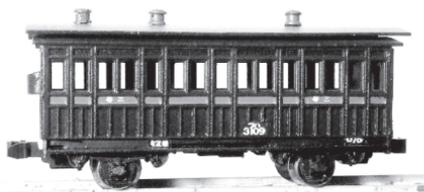
1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カプラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カプラー

明治30年にかけて6両が製造され、主に九州地方で活躍しました。

車端部に飛び出したブレーキハンドルカバーがよいアクセントとなっています。



ハフ2997

1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カプラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カプラー

明治25年に15両が製作された三等緩急車です。車掌室を広くとっているため、ブレーキハンドルは車内に納められ、半円状のカバーがありません。他車にも移動できるように、貫通扉がついているのが特徴です。



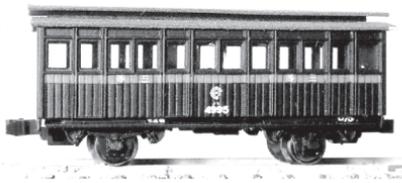
ハ4995

1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カプラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カプラー

明治36年に新橋工場で製造されました。前頁のハ4975の中の、少しタイプが違うものです。現在は加悦SL広場にて保存されています。



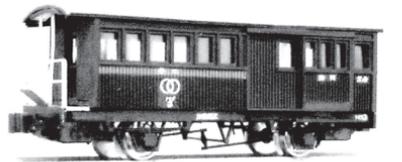
ハブ3

1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カプラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カプラー

明治22年に讃岐鉄道がドイツから輸入しました。鉄道省に買収後はユニ3908となり、加悦鉄道に転じてハブ3となりました。現在は加悦SL広場にて保存されています。模型は時代の仕様により貫通扉の有無が選択できます。

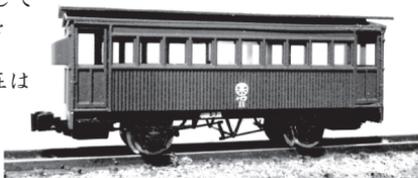


ハフ11

1/150 N 1500円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カブラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カブラー

明治41年に青梅鉄道向けとして作られました。その後各所を点々とし、最後は羽後交通雄勝線で活躍しました。現在は明治村で保存されています。模型では現役時と保存時で異なる形態を再現できます。

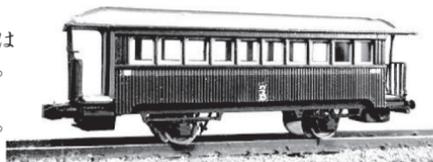


ハフ13

1/150 N 1500円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カブラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カブラー

明治44年に製造され新宮鉄道で活躍したのち、羽後交通雄勝線に移りました。現在は明治村で保存されています。模型では現役時と保存時で異なる形態を再現できます。

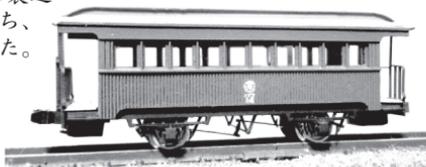


ハフ14

1/150 N 1500円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カブラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カブラー

ハフ13と同じく明治44年に製造され新宮鉄道で活躍したのち、羽後交通雄勝線に移りました。現在は明治村で保存されています。模型では現役時と保存時で異なる形態を再現できます。

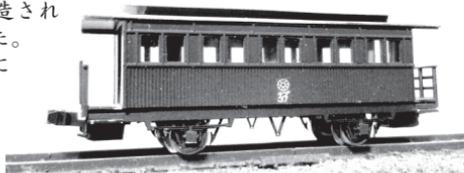


チブ37

1/150 N 1500円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カブラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カブラー

明治42年にドイツで製造され九州鉄道で活躍しました。現在は九州鉄道博物館に展示されています。

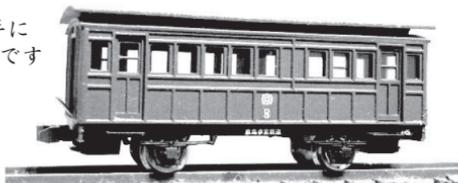


ハ5

1/150 N 1500円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カブラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カブラー

鹿島参宮鉄道龍ヶ崎線で活躍した客車で、1899年に天野工場で作られたようです。元々は高野登山鉄道の「いろ4」という車両だったらしく窓の割付に合造車時代の面影が残っています。



ハ23

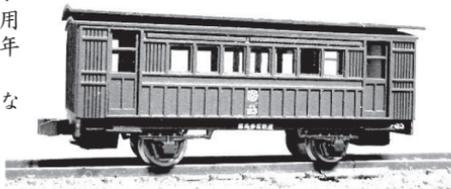
1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カプラーポケット

- ・φ5.6車輪
- ・各種カプラー

鹿島参宮鉄道の客車ですがハ5とは違い銚田線で使用されていました。昭和4年製造とされていますが昭和の時代にこんな古風な客車を作るはずがなく、その来歴には色々謎があるようです。



ハ14

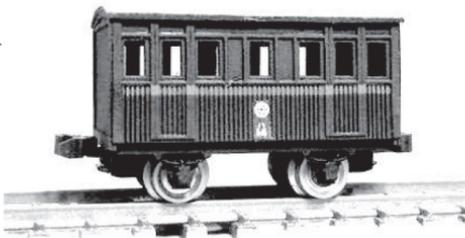
1/150 N 1500円

●別売品

KATO2軸貨車用
カプラーポケット

- ・φ5.6車輪
- ・各種カプラー

宮崎鉄道のハ14です貨車から改造された車で非常に小さく、小型の2軸客車と比べても小さいです。



フホハ7835

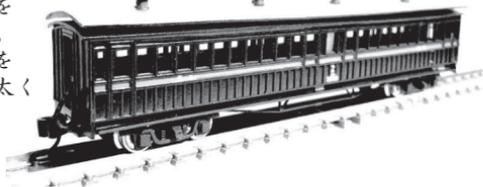
1/150 N 2000円

●別売品

マグネ・マティック
カプラーNo.2001(短)

- ・φ5.6車輪

形態としては車体中央に手洗いを備えた典型的な3等ボギー客車ながら色々不明点の多い車両です。日本鉄道で作られた客車で同型車は23両ほどいたようです。模型としては前作(コハ6500)でネックだった部分を大幅に改良しました。壊れやすかった台車を強化し、トラス棒も太くしています。



レーザカット済ペーパーキット ポケットラインシリーズ

KATOのポケットラインシリーズのチビロコセットの車体を入れ替えたり、改造を行い手軽に明治の機関車や木造客車風にするキットシリーズです。

クラウス10形機関車

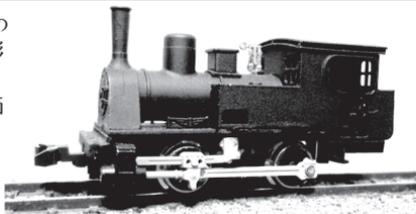
1/150 N 1500円

●別売品

連結器

KATOカプラー-N
車体 チビロコ

KATOのチビロコセットの機関車を九州鉄道の10形蒸気機関車風にしました。運転室、ランボード、砂箱を乗せ換えて作成します。

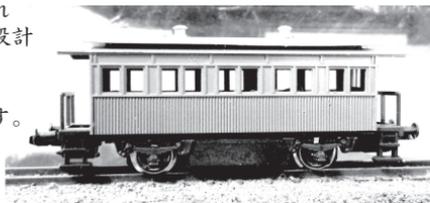


九州風木造客車

1/150 N
1500円

- 適合下回り
ポケットライン客車

九州鉄道博物館に展示されているチブ37をもとに設計した九州風木造客車です。ポケットライン台車に乗せるだけで完成します。



レーザカット済ペーパーキット コンバージョンシリーズ

KATO製オハ31客車の側板を入れ替えて
手軽に木造客車にするキットシリーズです。

ナハ22000

1/150 N
1200円

- 別売品
KATOオハ31

1919年から1927年にかけて1600輛以上が製造された、戦前の代表的な木造客車です。全国津々浦々を走りましたが、老朽化に伴い、いわゆる鋼体化改造工事（60系客車）の主な種車となりました。



ナハ724000

1/150 N
1200円

- 別売品
KATOオハ31

ナハ22000の緩急車版です。ナハ22000と本車、そして8620形蒸気機関車との組み合わせは全国で見られ、この列車が走らなかった線区は無い、とまで言われました。

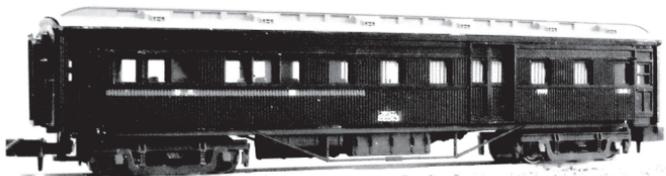


オハニ25500

1/150 N
1400円

- 別売品
KATOオハ31

ナハ22000系の三等、荷物合造車です。

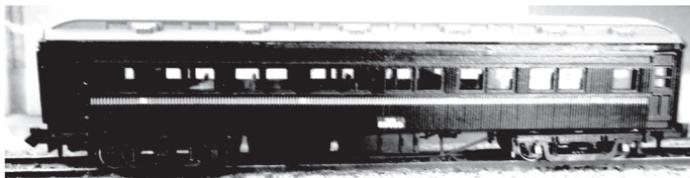


ナロ20600

1/150 N
1200円

●別売品
KATOオハ31

ナハ22000系の二等車です。当時の2等車としては標準的な外観を持っています

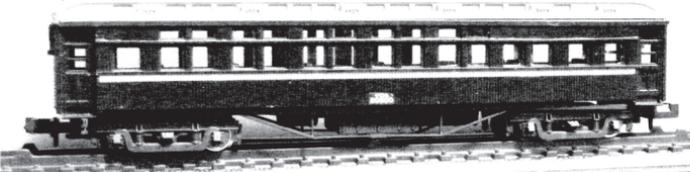


ナロネ20600

1/150 N
1200円

●別売品
KATOオハ31

ナハ22000系の二等寝台車です。幕板部に設置されたままどが特徴的です

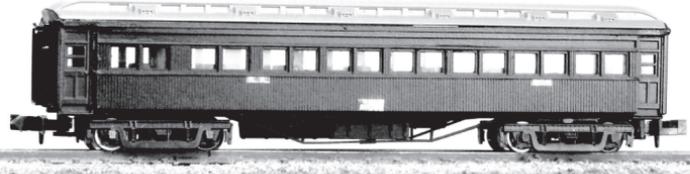


ナシ20350

1/150 N
1200円

●別売品
KATOオハ31

大正時代に製造された木造洋食堂車です。編成に1両組み込むことにより、往年の急行列車が蘇ります。



レーザカット済ペーパーキット 木造電車シリーズ

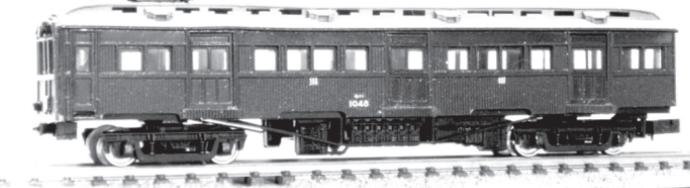
ケント紙をレーザーカットマシンで裁断しキット化したシリーズです。あまり鉄道模型としては見かけない木造電車をキット化してみました。

モハ

1/150N
3500円

●別売品
DT10
ヘッドライト
PS11パンタグラフ
骸骨型テルライト

モハ1のうち、大正10～12年に製造された旧デハ33500型のグループの026～064です。昭和10～20年代に廃車になり、半数程が私鉄へ払い下げられました。

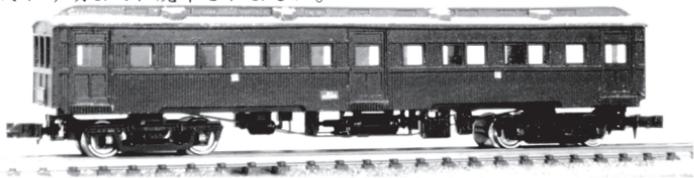


サハ25A

1/150N
2000円

- 別売品
TR11

大正10年にサハ33700として製造され、昭和3年にサハ25に改番されました。一部は鋼体化改造されましたが木造車が残ったものは昭和20年代の終わり頃までに廃車されました。

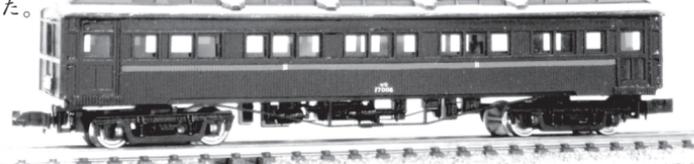


サロ17

1/150N
2000円

- 別売品
TR11

大正9年にサロ33200として製造され、昭和3年にサロ17に改番されました。その後、昭和4年にはサハ25に格下げされ3扉化改造されました。



モニ13

1/150N 3500円

- 別売品
DT10
ヘッドライト
PS11パンタグラフ
骸骨型テールライト

モハ10を荷電に改造したものです。戦後、一部は鋼体化改造されそれ以外は昭和30年代まで残ったものもいました。昭和7~9年に改造された001~020が製作できます。

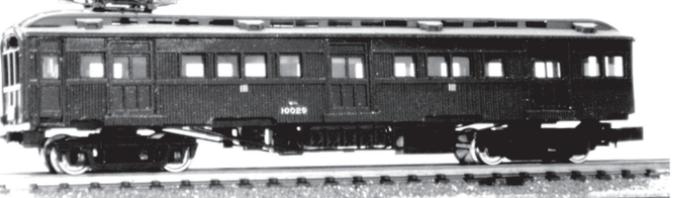


モハ10

1/150N 3500円

- 別売品
DT10
ヘッドライト
PS11パンタグラフ
骸骨型テールライト

モハ10の大正12年度から14年度車です。鋼体化改造で殆どがモハ50（後のクモハ11 400番台）に改造され昭和後期まで活躍しました。

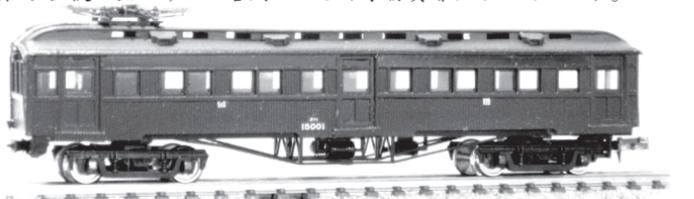


クハ15A

1/150N 3500円

- 別売品
DT10
ヘッドライト
PS11パンタグラフ
骸骨型テールライト

クハ15のうちデハ23450だったものです。3箇所の出入り口のうち、運転台直後の出入り口は客用ではなく乗務員扉になっています。



サハ25B

1/150N 3500円

- 別売品
- TR11

サハ25形の062～132です。大正10～11年に製造された旧サハ33750です。鋼体化改造でクハ65やサハ75に改造されました。



クモエ4300

1/150N 3500円

- 別売品
- DT10
- ヘッドライト
- PS11パンタグラフ
- 骸骨型テールライト

田町電車区の救援車です。昭和34年の称号改正でクモエ4300となり、昭和38年に廃車になりました。

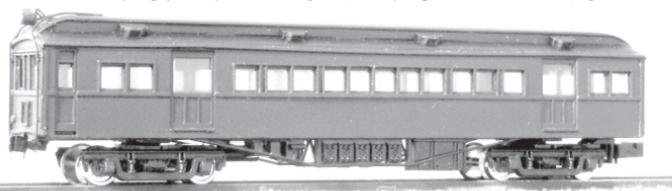


モハ301

1/150N 3500円

- 別売品
- DT10
- ヘッドライト
- PS11パンタグラフ
- 骸骨型テールライト

モハ1の私鉄譲渡車で静岡の鉄道会社に譲渡されたものです。



クエ9112

1/150N 3500円

- 別売品
- DT10
- ヘッドライト
- PS11パンタグラフ
- 骸骨型テールライト

山手・中央線向けのデハ23500をルーツとするクハ15を昭和20年代に救援車に改造したものです。最後は下十条電車区に配置され、昭和52年まで使用されました。

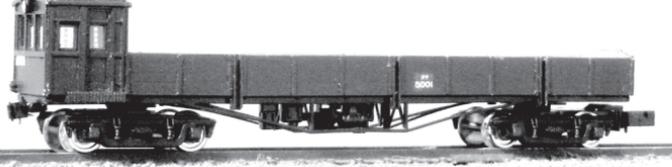


クヤ5

1/150N 3500円

- 別売品
- DT10
- ヘッドライト
- PS11パンタグラフ
- 骸骨型テールライト

昭和9年にサハ19から改造されました。昭和28年の改番でクル9200になり、昭和34年に廃車されました。



モヤ4

1/150N 3500円

- 別売品
DT10
ヘッドライト
PS11パンタグラフ
骸骨型テールライト

第一次京浜型の旧デロハ6190などを事業用車に改造したものです。昭和3年にモヤ4に改番され昭和24年に廃車になりました。クヤ5と連結して運用することもありました。

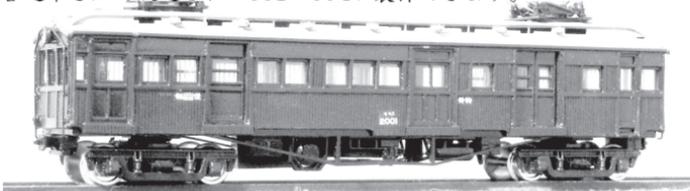


モユニ2

1/150N 3500円

- 別売品
DT10
ヘッドライト
PS11パンタグラフ
骸骨型テールライト

昭和2年から3年にかけて第一次京浜型などをルーツとする車両から改造されたものです。昭和3年にモユニ2に改番されましたが昭和13年までに殆どが廃車されました。本製品はデロハ6190形を三等荷物合造車を経て改造された001~004が製作できます。



レーザカット済ペーパーキット 超精密木造客車リーズ

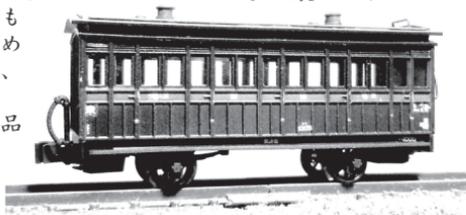
木造客車キットを再設計してNゲージで出来る限りのディテールを詰め込んだキットシリーズです。

ハ1005

1/150 N
2300円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カブラーポケット
・φ5.6車輪
・各種カブラー

16番で培った設計をNにフィードバックし、ほぼ完全新規設計としてディテールと組み立てやすさを向上させました。紙製でありながら金属キットにも勝るとも劣らない仕上がりが望めます。ブレーキホース、油灯等はレジン製からアクリル3Dプリント品とし、品質を向上させました。



ハ3109

1/150 N 2500円

●別売品

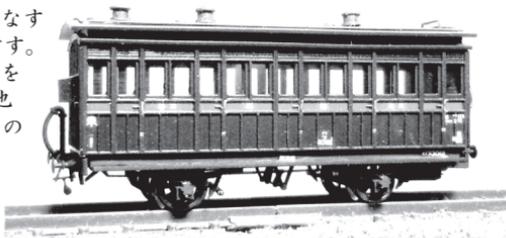
KATO2軸貨車用

カブラーポケット

・φ5.6車輪

・各種カブラー

ハ1005と好一対をなす標準的な3等緩急車です。模型ではブレーキ機構を可能な限り作りこんだ他オプションとしてダミーのリンク式連結器が付属します。



ユニ3952

1/150 N 2600円

●別売品

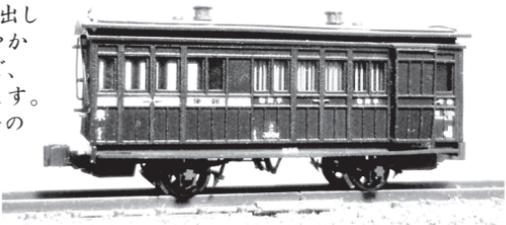
KATO2軸貨車用

カブラーポケット

・φ5.6車輪

・各種カブラー

明治31年に製造され、九州鉄道で活躍した、郵便手荷物緩急車です。車掌室から左右に張り出した監視窓を持ち、鮮やかな郵便車帯を纏うなど、特徴的な外観を持ちます。オプションとしてダミーのリンク式連結器が付属します。



レーザーカット済ペーパーキット 16番ゲージ木造客車リーズ

1/80、16番ゲージの木造客車シリーズです。Nゲージで表現しきれなかったディテールや本来の車体幅の狭さなどを表現しています。

ハ1005

4000円

●使用部品

KDカブラーNo.5

エコモデル製

客車用軸受

●塗装

屋根 ダークグレー

車体 ぶどう色1号

下回り 黒

真鍮線を使用した手すりや、踏板、二重屋根の表現など細かく作っています。エコモデル製の客車用軸受、連結器はKDカブラーNo.5を使用します

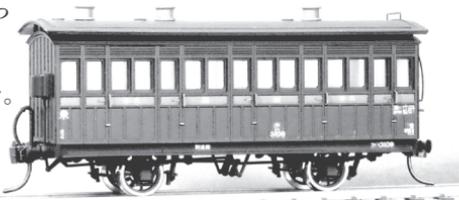


フハ3109

4500円

- 使用部品
KDカブラーNo.5
エコーモデル製
客車用軸受
- 塗装
ハ1005と同様

ハ1005とほぼ同車体を持つ3等緩急車です。模型では前回組立に難があったブレーキロッド周りを一新。必要十分の立体感と強度を確保し、組み立て易さを大幅に向上させました。

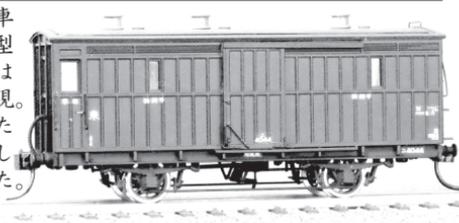


ニ4044

4000円

- 使用部品
KDカブラーNo.5
エコーモデル製
客車用軸受
- 塗装
屋根 ダークグレー
車体 ぶどう色1号
下回り 黒

大柄な車体を持つ木造荷物車です。床下に吊ってある大型の真空ブレーキシリンダーは3Dプリントにて精密に再現。各部のディテールも残された写真を参考に、強度を確保しつつ出来るだけ再現しました。



レーザーカット済ペーパーキット ストラクチャーシリーズ

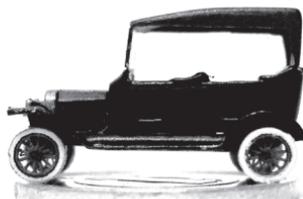
レーザーカットマシンで裁断したペーパーパーツを使用したストラクチャーシリーズです。

T型クラシックカー

1/150 N(再生産予定)

- 塗装
車体 黒
グリル 金
タイヤ 白
ホイール 茶

1910年代中頃にアメリカで製造された大衆車で、アメリカのみならず世界各国で普及しました。日本では主にタクシーとして使われました。



明治風ホーム柱セット

1/150 N
1000円

- 別売品
GMローカル
ホームセット

GMローカルホームに明治風の屋根飾りと柱を使用するセット。柱は1mmイラストボードで頑丈に製作しました。



レーザーカット済ペーパーキット 軍用列車シリーズ

建築模型にも使われているスノーマット紙をレーザーカットマシンで裁断しキット化したシリーズです。鉄道模型として作られることがあまりない軍用列車をキット化してみました。



1/160 N (再設計中)

九四式装甲列車

- 適合動力 マイクロエース 9600機関車
- 適合下回り ピン止め貨物用小型台車
- 塗装 外装：日本陸軍黄帯迷彩 底部及び裏側：黒

大日本帝国陸軍の装甲列車で、南満州鉄道株式会社にて製作されました。火力を正面に集中できるように火砲車が配置され、走行射撃ができるように設計されています。また、装甲列車としては珍しく歩兵車を廃止し、単独での戦闘に重点を置いています。

その自慢の戦闘力で中国戦線で暴れまわったそうです。

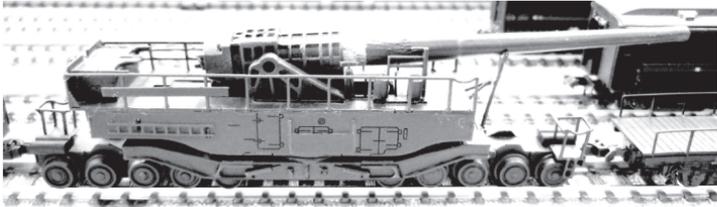
(具体的には中国軍の占領する駅に突入して奪取するとか)

九〇式二十四糎列車加農

1/150 N
3500円

- 必要部品
ピボット無し車輪10本
カーカバーN
- 塗装
全体 黒
砲身付根 銀

1925年に日本陸軍が発注し1928年にフランス、シュナイダー社が設計製作した列車砲。51口径24cm砲を搭載し列車砲としては小型で使い勝手の良いサイズ。国内で使用するため狭軌の車両限界に対応しています。

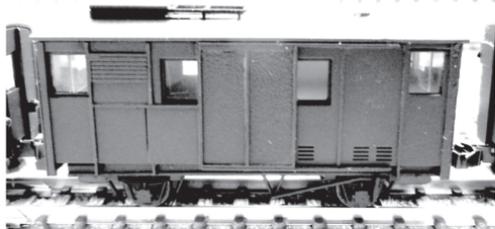


列車砲 動力車

1/150 N 2000円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カバーポケット
・φ5.6車輪
・各種カバー
- 塗装
全体 黒

電力と圧搾空気を供給する動力車です。小移動用牽引車の役目も担っています。1928年に汽車会社と芝浦製作所が製作しました。ガソリン発電機で230Vを列車砲に給電し、移動にはモーターを使用します。

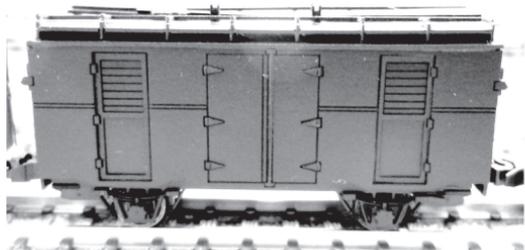


列車砲 弾薬車

1/150 N 2500円

- 別売品
KATO2軸貨車用
カバーポケット
・φ5.6車輪
・各種カバー
- 塗装
全体 黒

1931年に作られた弾薬車です。弾薬の運搬とともに揚弾を行う砲側弾薬車です。





発行日 2015年12月26日

発行者 IORI (IORI工房)

TwitterID : @iori_koubou

HP <http://iori.uji-masa.com/>

blog <http://iori051039.blog83.fc2.com/>

(「IORI工房」で検索)

mail iori.koubou@gmail.com